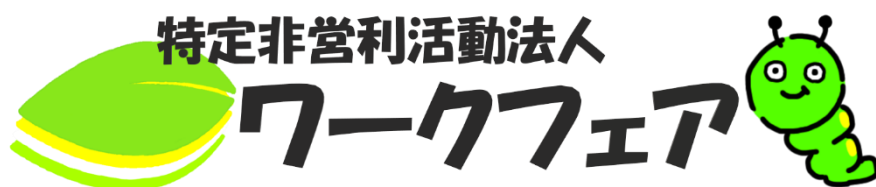


～いきる、くらす、はたらく。みんなで奏でよう♪～



ワークフェアだより 第9号 2023年12月

北海道北見市を拠点にオホーツク圏全域で、
生活相談や就労支援、子どもの学習支援などに取り組んでいます。

社内交流のため、月例の研修に併せて、常勤職員全員でトークする短い時間を設けている。先日のお題は「好きな本・映画・ゲームなど」。みんなが、かつてハマった漫画などについて語る中、私は絶賛放映中のアニメ「SPY×FAMILY」の好きな場面について熱弁をふるった。一部の職員から「またですか～」と失笑を買う中…。

——それぞれの思惑から偽装家族を営む父・母・娘。スパイである父は、ある任務のために娘を名門校の特待生にすることを画策するが、娘の成績はからっきし。娘をその気にさせるにはどうしたらいいかと思い悩み、ふと立ち返る。娘にばかり理想を押し付けているが、そもそも、自分が理想の父親として立ち振る舞っているのか——。

私たちも、相談員・支援員として、どうしたら相談者が動き出せるか、どうしたら若者が就職できるかと思い悩み。職場の一員として、同僚に、ああしてほしい、こうしてくれないかと期待してしまう。家族としては、なおさらそうだ。だけど結局、相手が自分の思い描くように動くかどうかは分からない。

肝心なのは、自分がやるべきことを思い定めて、真剣に取り組むこと。

そんなふうに読み替え、内省していた。私は、私の役割を果たしているだろうか。

ほかに、「SPY×FAMILY」には対人関係を考察した名言が随所に出てくる。対話を重ねることの大切さ、今の自分にできることを精一杯やること、心からの謝罪—。今後も楽しみである。毎週土曜日23時から放送中！ 12月22日から劇場版公開！ あっ、宣伝になってしまった…。（代表理事 柳谷君予）

日赤看護大学の学園祭で女性相談の広報活動をしました。献血もしました(右後方が献血車)。今の自分にできることを精一杯!(6月)⇒



各事業部より 2023年度上半期(4月～9月)の報告

》》》 滝上町との協同事業

～芝ざくら公園を活用した就業体験の場づくり、
就労困難者への就労支援～

《芝ざくら滝上公園就業体験モニター事業》

10月10日(火)～13日(金)に3泊4日で就業体験モニターツアーを実施しました。

参加者は、昨年よりも1名増えて男性2名、女性2名の計4名でした。

ツアーを終えた方の中には「〇〇に応募してみよう」と具体的に動き出したり、今までは裏方の仕事を希望していた方が「接客に挑戦したい」と言い出すなど、気持ちの変化がありました。

地域の皆さんや同行した職員に見守られつつ、知らない場所で知らない仲間と様々な体験をすることで、自分自身の持っている力に改めて気づいたり、次の一步を踏み出す力になったのではないかと思います。



芝ざくら公園除草作業体験



楽しい食事の時間



ホテル宴会場の清掃体験

～毎日がどんな環境であっても、こどもたちが自分の望む選択ができるようお願い、
学習支援を切り口に、生活全体を応援しています～

こども訪問シマエナガ

利用者 2人(北見市内) 訪問回数14回



贈呈書を受け取った担当者

不登校により家で孤立しがちなお子さんの元を訪問します。

ゲームやおしゃべりなど、お子さんの好きなことを一緒にして時間を過ごします。フリースクールをはじめとした学校に代わる居場所や学習の機会が得られる場所など、お子さんが生き生きと過ごせる環境へ橋渡しをします。

生活困窮世帯に限らず、どの世帯のお子さんでもご利用いただけます。

※2023年度 NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンドの市民活動団体助成に採択されました。

こどもの学習支援

▶ えぞりす(北見市)

利用者 55人(小14 中38 高3)

支援回数 955回

(来所802回 訪問152回 交流会1回)



▶ 学習センターふくろう(オホーツク町村部)

利用者 27名(小14 中9 高4)

(遠軽・佐呂間・美幌・大空・斜里・訓子府)

支援回数 203回

(訪問183回 拠点6回 通信13回 交流会1回)



イラストクラブ

開催数 14回

作品展 1回(北網圏文セン)

ポストカード展1回(サポステ内)

絵を描くのが好きな人が、年齢も性別も所属も関係なく、月に2回集まっています。出欠確認もルールもなく、思い思いに好きな制作活動をする自由な空間です。今は、スクラッチアートが流行っています。

年明けには2回目のポストカード展を予定しています！



》はたらく事業部

オホーツク若者サポートステーション ～15～49歳の就職を応援しています～

新規登録13人 就職等18人

《企業と新しくつながり、新たな職業体験を創出》

地域の企業さまのご協力により、夜警の仕事、ホタテの稚貝作業、ゴミ分別、データ入力など、新たな作業を体験する機会を数多くいただくことができました。

これらの体験を通じ、仕事の多様性、チームワーク、個々の工夫点など、多くの理解につながったのではないかと思います。



稚貝作業の様子



北見市社会的居場所づくり支援

～生活保護を受給している方の社会参加支援～

新規利用2人 登録数21人

《人と関わりを持つことの大切さ》

一番の目的は孤独や孤立を防ぎ、人と関わりを持つことです。年代は様々です。グループ作業で他者とのコミュニケーションが増え、休まず通所できるようになる等、意欲の向上に繋がっています。身体や心の問題で通所できていない方の自宅に訪問し、おしゃべりをしたり、内職作業の受け渡しをしたりもしています。



生活困窮者就労準備支援

～ひきこもっている方などの社会参加支援～

北見市:新規利用0人 登録数14人

オホーツク: 新規利用1人 登録数1人

《連携への意識を深める学びの機会》

「ひきこもり支援」について、北見市自立支援センター様と合同勉強会を行いました。

双方の事例検討などを通じ、連携をより意識できるようになりました。



》》その他の事業

居住支援（スパロウハウス）

～住居を失った方・借りられない方・自宅にいられない方等への一時的な住居の提供や住まい探しの支援～

新規相談者数 31人(前年同期18人)

入居成約数(住居確保) 4人(前年同期2人)

一時的な避難場所(スパロウハウス) 新規入居者数 15人(前年同期 5人)



まずは相談して
ほしいチュン

《相談者が増加中》

9月末時点で、年間目標数を上回る相談者が来所しています！(年間目標20人⇒9月末31人)

北見市外からの相談も多くなっており、9月末時点で8件ありました。

家庭内不和や離婚で家を出る場合の相談が多くなっています。離職で住まいを失った相談は減っています。

住居の確保先は、民間アパートや障がい者グループホームです。不動産業者やグループホーム運営会社との連携が進んできました。

賃貸契約に伴う緊急連絡先を、法人として引き受ける実績ができました。身寄りがいない方の住居確保につなげていきたいと考えています。

NPO法人ワークフェアは、国土交通省が定める「住居確保要配慮者 居住支援法人」の指定を受けています。

※居住支援法人とは・・・高齢者、所得の低い方、障がい者、子育て世帯など、住まいの確保に特に配慮が必要な方(住宅確保要配慮者)に対して、住まい探しのお手伝いや入居後の生活支援を行っている法人として都道府県が指定するものです。



ご寄付ありがとうございました！

- ・爽活サービス様:家電・家具等
- ・北海道財務局様:災害備蓄品
- ・東武イーストモール様:食料品



女性のためのつながりサポート

～コロナ禍により顕在化した女性の孤立を防ぎ、生き生きとした生活を実現～

新規相談49人(前年同期 34 人)

出張相談会&居場所づくり:開催6回 利用者延べ70人、居場所カフェ:開催37回 利用者延べ 128人

希望者への生理用品の提供 106人(前年同期 88人)



《誰でも何度でも自由に使ってほしい》

北見市、端野、留辺蘂、常呂支所の庁舎内女子トイレ、日赤看護大学の生徒用トイレに、無料で使うことのできる生理用品BOXを設置しています。

補充の数や頻度が上がってきており、徐々に認知され利用者が aumentando しています。困ったときに「ここにある」という安心感につながっていて欲しいと思います。

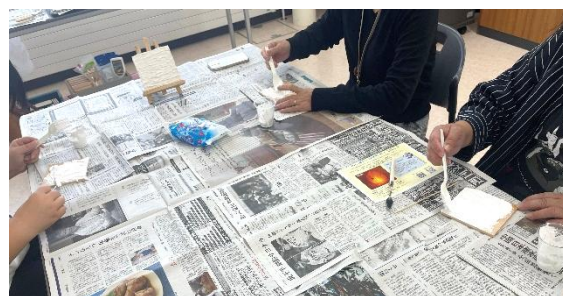


無料設置の生理用品BOX

《SNSの気軽さは世代を問わない》

この事業ではSNSを相談ツールとしても活用しています。特にLINEアプリは年齢層も幅広く、10代の中高生や60代の方までつながっています。

日々のちょっとした愚痴から誰にも知られたくない悩みの相談まで、独り言をつぶやくように相談できるのがSNSの良いところなのかもしれません。



居場所づくりでのミニ講座の様子

いきる・くらす事業部

オホーツク相談センターふくろう ～生活困窮者の相談支援 オホーツク町村部～

新規相談 66人(前年同期84人) プラン策定 42件(前年同期52件)

《食料・お菓子の寄贈に感謝》

東武イーストモール端野店さまから、【未来へつなぐ東武のエシカル活動】のフードドライブで集まった食料品を、8月から寄贈いただいています。
お客様が店頭のボックスに提供くださる菓子や缶詰などを受け取っています。
缶詰類は、お金の問題で食料が調達できない方へ提供しています。
お菓子類は、子どもたちの学習支援のお供に喜ばれています。
※フードドライブとは、ご自宅で余っている食料品を持ち寄るボランティアです。



ほのぼののしのおやん

羽相つき
まける
山賀 茂



★札幌に1泊2日で研修旅行★

11月11、12日に札幌で「生活困窮者支援全国研究交流集会」が開かれ、常勤職員12人で参加しました。

2日目は分科会で、家計、就労、子ども、居住、女性など様々な支援の分野で、全国的に先進地の報告を聞くことができました。どの事業に携わる職員にも刺激になる内容でした。
行き帰りの汽車は、修学旅行のように楽しい雰囲気となりました。帰りの車内、研修の内容について意見交換する姿もありました。



行きの車内。熱心に研修準備!!

★スパロウハウス 寄付のお願い 目標60万円★

居住支援のシェルター「スパロウハウス」は、民間アパートや北見市の市営住宅を法人が有料で借り上げ、家具や家電を設置し、電気水道ガスをはひいて運営しています。収入源は、利用者から日額でいただく料金ですが、やり繰りは苦戦しています。

本年度は、支援員1名の人件費を確保するため、国土交通省の補助金を申請しました。予定金額は116万8千円ですが、申請団体が増えているため大幅減額の見通しで、実際の収入は半分ほどと想定しています。

このため、本年度で60万円の寄付収入が必要です。

多くの方が住まいを確保し自立に踏み出せるよう、ご協力をお願いします。

※下記事務所に連絡の上、持参いただくか、お振込みください。

振り込み先: 北見信用金庫本店(普通)1182495

★賛助会員 ご協力ください★

年会費: 一口 1,000円(何口でも大歓迎です)

事務所に連絡の上、持参いただくか、お振込みください(口座は同上)。

発行: 特定非営利活動法人ワークフェア

〒090-0064 北海道北見市美芳町5丁目2-13 エムリンクビル

0157-57-3136(代表・はたらく事業部・こども事業部)

0157-25-3110(相談ふくろう) 0157-57-3190(女性・居住支援)

メール: info@workfare.link

ホームページ: <https://info140929.wixsite.com/workfare>

Facebook: <https://www.facebook.com/workfarekitami/>

